

CONNECT

令和6年11月29日発行

保護者の皆様へ

本格的に寒いと感じる日が増えてきました。酷暑の中始まった2学期も、最後の1か月となりました。夏休みから2学期にかけて、学校生活の多くのものが2年生主体に変わりましたが、少しずつその自覚が見えてきたように感じます。立場が人を変えると言いますが、今、まさに変わってきている状態だと考えています。もう少し時間はかかるかもしれませんが、これから全校をたくましく引っ張っていく姿を期待しています。

また、12月18日からは三者面談が始まります。今後の充実した学校生活に向けて、実りある面談にしたいと考えています。お忙しい中ご足労をおかけしますが、よろしく願いいたします。この三者面談等をとおして、2学期の成果と課題を明確にし、3学期の学校生活に前向きな気持ちをもって終業式を迎えられるよう、職員もお子様の支援を継続します。12月もよろしくお願い致します。

2学年主任 齋藤 健吾

合唱について

合唱祭から1か月が経とうとしています。当日は、両クラスとも練習の成果を十分に発揮することができました。もちろん、「もっとできたはずだ」と考える人もいるかもしれませんが、両クラスとも練習の成果を十分に発揮でき、とても素晴らしい発表だと思います。

昨年から感じている事ですが、今の2年生の合唱への取組はとても素晴らしく、私が今まで見てきた中学2年生の中では1番です。合唱祭が終わってから1か月、お互いの自由曲を練習し、今週その2曲を全体で合わせて歌いました。この期間の取組を見ても、合唱に対する前向きな気持ちが見え、本当の意味で合唱が生活の一部になっているのだと思います。来年の合唱祭や卒業式で、更にパワーアップした皆さんの歌を聴くことができると思うと、今から楽しみで仕方ありません。日々の練習をこのまま、いや、更に充実したものにし、多くの人に皆さんの歌を届けてほしいと願っています。

職場体験

職場体験、お疲れ様でした。少ない時間での準備は大変だったと思います。しかし、この2日間の皆さんの様子を見て、この職場体験を実施することができてよかったと感じています。今後は、プレゼンテーションの準備に入ります。職業を「知る」だけで終わらせず、まとめて伝えるといった活動をとおして、学んだことを「深める」ことが大切です。どのような発表になるか、とても楽しみにしています。また、受け入れていただく事業所は忙しい中、皆さんのためを思って受け入れてくださいました。皆さんのための職場体験ですが、事業所の方々にとっても、「成東中の2年生を受け入れてよかった」と思ってもらえる2日間であったならいいなと思っています。行事は終わりましたが、地域の事業所として関わりが途切れるわけではありません。利用する際には、ぜひ感謝の気持ちをもって利用してください。

救急法講習会

11月21日(木)、保健体育科の授業で救急法講習会を行いました。東消防署から3名の講師が来てくださり、心肺蘇生法の行い方を教えてくださいました。「知っている」だけでなく、実際に行ったこともある方々の話は、やはりとても重みがあり、私は「人の命を救う」方法を学んでいるのだと気持ちが引き締まりました。

威厳すら感じる講師の方々の方に、最初は緊張した雰囲気を感じましたが、グループごとに分かれて練習した際には、いつも通りの前向きな様子で取り組んでいたように思います。「知っている」と「自信をもってできる」ことは違いますが、まずは「知る」「やってみる」ことができ、とても意義のある時間になりました。万が一、必要な場面に出くわした際には、「人の命を救う」ために行動できることを期待しています。

HERO

○ 11月のNBA参加者を紹介します。

千葉 美心さん、坂野 孝輔さん、國分 颯介さん、佐藤 彪雅さん、鶴沢 祐希さん、原崎 莉子さん、鳥濱 藤乃さん、依田 空さん、早川 璃空さん、山田 翔大朗さん、古川 大晴さん、原崎 湖子さん、加瀬 小幸さん、怒賀 愛珠さん、押田里央奈さん、田山 柚杏さん

今回は、駐輪場付近の落ち葉等を集めました。寒くなってきましたが、参加者は前向きな様子で、協力して活動していました。お疲れ様でした。(前号でも書きましたが、参加者は名簿にチェックがあった人を載せています。チェックがついておらず、参加したのに抜けている人がいたら申し訳ありません。)

○ 授業中等、鈴木 花乃さんの椅子に座る姿勢がとても素晴らしいです。1年生の時に1回本人には声を掛けましたが、その頃と変わらない、背すじをまっすぐ伸ばした座り方を見ていると、こちらも気が引き締まります。その素晴らしい姿勢で、今後も学習内容を確実に理解することを期待しています。

○ 給食の準備の時、B組の教室で消毒用のアルコールがこぼれてしまいました。すると、行木 葵さんがこぼれたアルコールを拭くのを手伝ってくれました。自分がこぼしたわけではないのに、当たり前かのように片付けをするその優しさ、とても素晴らしいですね。

○ 先日、数学の単元テストが返却された時、小高 凌空さんが「この問題できました」と、嬉しそうに言ってくれました。一次関数では苦労している様子も見られましたが、この単元テストで努力の成果を発揮することができ、私も嬉しく思います。

学習内容について、難しいと感じるもの、簡単だと感じるものは人それぞれです。また、どれくらいの時間をかけたら身に付くかも、人それぞれです。「できるまで努力することの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。ぜひこの調子で、今後の学習に励んでほしいと思います。